

第71回

# 日本伝統 工芸展

THE 71st  
JAPAN  
TRADITIONAL  
Kōgei  
EXHIBITION

2024.12/11水 - 25水 会期中無休

山陰在住入選作家作品(左上から右に)《瑠璃釉壺》森 和之(鳥取市)、《有線七宝蓋物「雪どけ」》橋詰 峯子(鳥取市)、《白瓷面取鉢》重要無形文化財保持者 前田 昭博(鳥取市)、《広瀬絁着物「洗洋」》永田 佳子(安来市)、《木綿手紡絁着物「ピカソ ゲルニカ追憶 Peace」》福井 禎(倉吉市)、《紙塑和紙貼「平穏」》松本 輪加子(松江市)、《存清螺鈿箱》高橋 香葉(松江市)、《縹縹幾何文壺》内田 和秀(松江市)、《硝子鶴首花器「悠遠」》川邊 雅規(出雲市)、《省胎七宝鉢「宙IV」》松本 三千子(松江市)、《紙塑和紙貼「春曆」》小村 真知子(出雲市)、《苔玄釉線紋鉢》花井 健太(鳥取市)、《嚮造拭漆鉢》濱田 幸介(松江市)、《焼締窯変壺》山本 佳靖(倉吉市)、《青瓷掛分光彩文鉢》坂本 章(鳥取市)、《広瀬絁着物「わたつみのうた」》伊藤 浩二(安来市)

開館時間: 10時-18時30分(展示室への入場は18時まで)

主催: 島根県、島根県立美術館、島根県教育委員会  
公益財団法人しまね文化振興財団、NHK松江放送局、朝日新聞社  
山陰中央新報社、公益社団法人日本工芸会、SPSしまねグループ  
後援: 鳥取県、鳥取県教育委員会、公益財団法人しまね産業振興財団

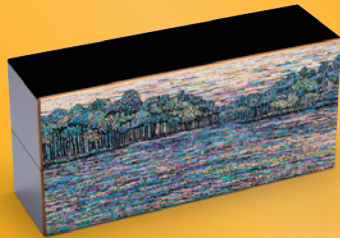


文化庁  
令和6年度  
文化庁補助事業





THE 71st  
JAPAN  
TRADITIONAL  
Kōgei  
EXHIBITION



# KŌGEI



70年の歴史を持つ日本伝統工芸展は、日本の優れた工芸技術の保護育成を目的に開催されてきました。全国の作家より応募された多数の作品の中から、厳正な審査を通過した作品が11会場で展示されます。作品は陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門にわかれており、それぞれに技術を磨き新たな表現を追求しています。

今年は、山陰地方に在住する作家の作品が、過去最多の16点入選する快挙を果たしました。22回目となる松江展では、地元山陰在住作家の作品はもちろんのこと、重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品41点や、受賞作16点を含む270点を一堂にご紹介します。

## 記念講演会 聴講無料

12月15日(日)13時30分～(13時開場/約60分)

講師:宮本 貞治

[木工芸作家、重要無形文化財保持者「木工芸」(人間国宝)、京都美術工芸大学 特任教授]

演題:「木工芸 一素材の魅力と表現の美」 会場:美術館ホール(190席/先着順)

宮本 貞治(みやもとていじ)

1953年、京都市の生まれ。家具職人の父・宮本藤治のもとで木材や木工用具に囲まれて育ち、1975年より黒田乾吉に師事。削物、指物等の伝統的な技法を学び独立する。本展では第42、57回展で2度日本工芸会奨励賞を受賞し、第50回展で第50回展記念賞、第59回で日本工芸会保持者賞を受賞している。2013年には紫綬褒章を受章。同年より、京都美術工芸大学にて教授として指導にあたる。2023年重要無形文化財保持者「木工芸」に認定された。

## ギャラリートーク 要覧観覧料

会場:企画展示室 各日14時～(ただし15日は講演会終了後)

12月14日(土)【染 織】福井 禎 [日本工芸会正会員]

12月15日(日)【木竹工】宮本 貞治 [重要無形文化財保持者、本展第一次鑑査委員]

12月21日(土)【陶 芸】吉田 幸央 [本展第一次鑑査委員]

12月22日(日)【諸工芸】氣賀澤 雅人 [本展第一次鑑査委員]

そのほか、本展会期中に小学生向け・高校生向けの普及事業も実施します。詳細は各対象校にご案内いたします。

## 観覧料

◆オンラインチケット・ローソンチケット[11月11日より販売]

一 般 日本伝統工芸展700円

日本伝統工芸展・コレクション展セット850円

※オンラインチケットはホームページより、ローソンチケットはローソン各店にてお求めになれます。(ローソンチケット/コード61338)

◆当日券

一 般 日本伝統工芸展800(640)円

日本伝統工芸展・コレクション展セット950(760)円

大学生 日本伝統工芸展600(480)円

日本伝統工芸展・コレクション展セット700(560)円

## 高校生以下無料

※( )内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳(障害者手帳アプリ:ミライロID)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は1名まで無料

## かぞくの時間

作品についてお子様とお話しながら鑑賞いただけます。  
毎日10:00～12:00(休館日を除く)

次回企画展予告

平山郁夫 未来へのキャラバン  
2025年1月17日(金)～3月10日(月)

交通案内  
JR松江駅から徒歩約15分  
JR松江駅から松江市営バス(南循環線内回り)6分  
→「県立美術館前」下車  
観光ループバス(レイクライン)  
→「県立美術館前」下車  
山陰道→松江西ランプから車で約5分

国道9号 袖師交差点南進(駐車場より地下道をご利用ください)  
※3時間まで無料



〒690-0049 鳥根県松江市袖師町1-5  
TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714  
<https://www.shimane-art-museum.jp>

(左上から右に)東京都知事賞《型絵染着物「あすなろの森」》遠藤 あけみ、日本工芸会奨励賞《靱金飾箱「宙の調べ」》江里 朋子、日本工芸会総裁賞《摺地象嵌花器》原 智、文部科学大臣賞《神代杉造箱》角間 泰憲、NHK会長賞《五色彩鉢「月く月」》高橋 朋子、朝日新聞社賞《螺鈿堆錦箱「汽水域」》松崎 森平、日本工芸会会長賞《七宝鉢「律」》安藤 令子、《彩色金網手鉢》吉田 幸央、《硝子切り花瓶「海宮」》氣賀澤 雅人、《鉄輪草花文大鉢》重要無形文化財保持者原 清、《栃拭漆料線紋飾箱》重要無形文化財保持者 宮本 貞治、高松宮記念賞《木心桐製和紙貼「あかばな」》満丸 正人